

うやなぎ しょう たから

植柳小の宝

「旧講堂」

の巻



きゅう こう どう

旧講堂は、だれが、いつ、
なんのためにたてたのでしょうか。

かんとう だいしん さい

とし

うやなぎ むら

関東大震災のよく年、ここ植柳村では、



あつ

しき

げき

「小学校にみんなが集まって式や劇や

たい いく

たてもの

体育ができる建物をつくらう」

はなし

で

という話が出ました。竣工記念

たてもの

かね

ひつよう

建物をつくるには、たくさんのお金が必要
でしたが、村にあったお金や、村長さん



こうどう

た

たちがお金を出し合って、「講堂」を建て
ることになりました。

旭川市立大川小学校 竣工記念



やししろし

お金を出した1人が、このあと八代市で
しちょう さかた みちお

はじめて市長になった、坂田道男さんです。



さか た

がい こく べんきょう

坂田さんは、外国で勉強をしたことが
ありました。



そのときギリシャのアテネにあった、石で
たてもの かんどう
きた古い建物を見て、とても感動しました。

さか た

たてもの

坂田さんは、「あの建物のようにじょうぶ

じしん

で、大きな地震でもたおれない石やコ

こうどう

ンクリートの講堂にしよう。」

いけん

だ

という意見を出しました。

みんなも大さんせいでした。



いま

ねんまえ

うやなぎしょう

こうして今から90年前、植柳小に

こうどう

かんせい

「講堂」が完成しました。

とかい

たてもの

都会には、こうした建物はたくさんありましたが、小さな村で、みんなでお金を出し合って、「子どもたちのため」だけに

た こうどう

建てた講堂は、日本ではじめてでした。

たいひょうばん

たちまち大評判になりました。



こう どう

にゅうがくしき

そつ

それから、この講堂では、入学式や卒

ぎょうしき

しゅうかい

業式、集会などがありました。





ほうれきはぎわらづつみ げき まいとし

「宝曆萩原堤」の劇も毎年のように、

こうどう

この講堂でありました。

がっこう こうどう

いまは、学校の講堂としてではなく、

やっしろし たから うやなぎしょうきゅうこうどう

八代市の宝「植柳小旧講堂」として

のこ

たいせつに残されています。

中はこんなようすです。



ねんまえ むら

90年前の村の人たちの、
「子どもたちのために」の心がこもった
「旧講堂」です。

そつぎょうせい おも で

1万人の卒業生の思い出がこもった
「旧講堂」です。
「植柳小の宝」です。

たいせつ

これから大切にしていきたいものです。

